

市政に関する一般質問

9月会議は19名の議員が質問

幼児教育・保育の無償化に向けた具体的な取り組みについて

小易和彦 議員

幼児教育・保育の無償化に関して、市民への周知はこれまでどのように行ってきたのか伺います。

市民の皆様への周知としては、無償化の概要等を5月1日号及び8月15日号の広報でお知らせとあわせ、ホームページにも掲載し、市窓口でのチラシ配布に加え、施設経由で保護者の方に個別に渡しています。また、給食費の取り扱いについては、公立保育園及び民間保育所の3歳以上児の子供の保護者宛てに無償化後の副食費について保護者の皆様に負担いただくこととなる旨のチラシを各施設経由で9月上旬に別途配布し、その際に各施設より個別に説明をしています。



明をしています。10月以降の窓口等での丁寧な対応に努めます。

都市計画道路3・4・7号線の整備について

勝又勝 議員

都市計画道路3・4・7号線の整備状況は、昭和61年度に事業着手し、平成23年度に南部公民館付近から鎌ヶ谷高校付近までの間の約420メートルについて供用を開始したとのことですが、その効果について伺います。

本市では、都市計画道路3・4・7号線のように東西に連絡する機能を持つ道路整備が必要であると思っております。



館付近のカーブが連続していた旧市道を通らず、新たに幅員16メートルで道路を整備し、歩道についても両側に3.5メートルを確保したこと、車両や歩行者が安全に通行できるようにしたと聞いています。

東西に連絡する機能を持つ道路が不十分であることから、東西道路の機能を持つ都市計画道路3・4・7号線は市の道路ネットワークの中で外郭幹線道路として中心市街地の渋滞緩和に効果がある大変重要な道路として認識しています。

民生委員・児童委員について

松澤武人 議員

民生委員・児童委員の配置状況について伺います。

令和元年12月1日より新たに委嘱される民生委員・児童委員の任期が始まりますが、定数145名に対し、141名を委嘱し、4名の欠員が生じる見込みです。

民生委員・児童委員のなり手不足について伺います。

日中勤務されている方や



なかなか民生委員・児童委員活動に充てる時間的な余裕がない方も多く、また時間的余裕、健康状態が良好であったり、年齢により候補者として選出することができない方もおり、民生委員の新たな担い手が見つからないのが現状です。今後も引き続き民生委員についての普及啓発を行うとともに、可能な負担軽減を考えた

幼児教育・保育無償化について

佐藤剛 議員

幼児教育・保育の無償化後、保育施設の需要が増大することにより、悪質な認可外保育施設が参入する可能性があります。そのような事業者が参入できないように、前もって無償化の対象を限定する条例の制定についての見解を伺います。

現在本市に設置されている認可外保育施設の中には、指導監督基準を満たしていない施設があり、認可外保育施設の利用を制限する条例の制定は多くの課題を有していると考えます。

プラスチックごみの処理と対策について

佐竹知之 議員

生産から廃棄までメーカーが責任を負う「拡大生産者責任」を徹底するため、法整備が必要と思いますが、市の見解を伺います。

廃棄物の更なる資源化が推進されるため事業者に一定の負担を求めると発生抑制、再使用を進めるなど環境整備の有益性は認識しています。なお本市では、拡大生産者責任に関する要望を環境省や国会議員に対し継続的に行っているところですので。

本市におけるプラスチックごみ減量の方針と今後の計画について見解を伺います。



プラごみ減量の啓発チラシ

鎌ヶ谷市内における千葉県事業の進捗状況について

芝田裕美 議員

都市計画道路3・4・5号船橋・我孫子バイパス線は土地境界が確定していないとの理由により、用地取得率が30%にとどまっています。このまま時間が推移すると、千葉県道路の事業のほうに先に進むことも考えられます。その場合、船橋・我孫子線は北千葉道路で分断され、南北を結ぶバイパスも通行できない事態になりかねませんが、その点について見解を伺います。

鎌ヶ谷消防署前交差点は、進むことも考えられます。その場合、船橋・我孫子線は北千葉道路で分断され、南北を結ぶバイパスも通行できない事態になりかねませんが、その点について見解を伺います。

総合型地域スポーツクラブについて

伊福幸一 議員

本市には総合型地域スポーツクラブはありませんが、今後の対策について伺います。

他市の活動状況等を研究し、本市にふさわしいあり方などを検討していきます。

本市には障がい者の方が楽しく体を動かすことができ、スポーツクラブなどはありません。

現在、鎌ヶ谷市体育協会及びスポーツ少年団の加盟団体にはありません。

障がい者の方へのスポーツ振興を中心とした活動している団体は無いと伺いますが、本市の見解を伺います。

今後、現在行っている様々な講座等を継続すると同時に、障がい者の方たちにとって、総合型地域スポーツクラブの必要性や設立するうえでの課題等を他市の事例などを注視しながら調査研究していきたいと考えています。

障がい者の利便性向上について

富田信恵 議員

障がい者手帳のカード化への対応を伺います。

健康保険証のカード化やマイナンバー制度の導入により、自治体において必要な情報を取得できる環境が整いつつあることから、関係省令の改正が行われ、本年4月よりカード型の選択が可能となりました。

発行者である千葉県に確認したところ、県内で障がい者手帳を発行している自治体と今後統一した様式について検討する予定とのことですので。

図書館に來館することが困難な方について、郵送宅配事業等の実施は必要な図書館

道路対策について

泉川洋二 議員

船橋・我孫子線のバイパス道、丸山3丁目交差点の安全性や利便性向上のため、未整備箇所を横断歩道及び右折信号機が必要と思いますが、今後の対策について伺います。

横断歩道の設置により利便性の向上や歩行者の車道の横断防止が図られることが考えられます。また、右折信号機の設置により交通の安全性が向上するものと認識しています。今後は、交通状況を踏まえ、その必要性について、警察と連携を図りながら調査研究していきます。

市道4305号線は抜け道としてスピードを出す車があり、大変危険です。スピード抑制や歩行者への安全対策について伺います。

引き続き警察と協議し、



市道4305号線(丸山3丁目交差点)



路面標示の設置など、現状の中で可能な安全対策を検討していきます。

サービスと考えますが、市の見解を伺います。

来館が困難な障がい者の方が、図書資料を利用するうえで有効な手段と考えているため、今後その具体化に向けて検討していきます。

(注) 3R: Reduce (リデュース: 発生抑制)・Reuse (リユース: 再使用)・Recycle (リサイクル: 再資源化) の3つのRの総称